

県教連を会員みんなの力で再び盛り上げよう！ 県教連の未来のために 目指せ！1分会1加入



山口県教職員団体連合会
第32代委員長
山本 純

この度、会員の皆様の信任を得まして、山口県教職員団体連合会第32代目の委員長を仰せつかった山本 純です。

全日教連新聞の記事にも書きましたが、私は「3年経つたら帰ってきます。」と子供や保護者、同僚に言っていた県教連の専従となりました。平成30年の4月には、教研全国大会(山口大会)を成功に導き、再び現場で子供の指導に頭を悩ませていたはずでしたが、予定は大きくは変わりました。予定は変わってしまいましたが、落胆してはいるわけではありません。会員の皆様から「つべこべ言つたらんで、県教連の委員長になり。で、やれるとこまでとにかくやってみい。応援しちゃうけえ。」と背中を押してもらったのだと思っています。皆様に任せていただいたからには、その役を果たすために全力で駆け抜けていきたいと思えます。その立場になって初めて見える景色というものがあると思えます。是非、会員の皆様にもそれぞれの単組や分会において、積極的に役を引き受け、その立場でしか見られない景色を見ていただきたいと思えます。

昨年度の教育研究全国大会(山口大会)では、他県の参加者から、「とても素晴らしい大会だった。」、山口の方特に役員の方の対応に感謝している。「今回の教研大会で知り合った山口の仲間と会いに来たい。」等多くの嬉しくなる言葉をいただきました。これは、ひとえに県教連会員の皆様のおかげですが、大会を通して、他県の方々に伝わったからこそこの言葉であると確信しています。多くの会員の方に役員として、または、参加者として大

県教連にはあなたの力が必要です！ あなたの存在が県教連の力になります！

重をかけ、会員の皆様とともに全力で取り組みたいと思えます。是非皆様の力を私に貸してください。

さて、平成29年度の交渉では、忙しい勤務の中にあっても、時間を作って交渉に参加し、現場の声を届けてくださった会員の存在は非常に嬉しく、そして心強かったことを覚えていきます。しかし、山口県の財政状況が厳しいこともあり、給与面では、月例給及び期末・勤勉手当の改定がなく、その上、年度途中での退職手当の引下げ等非常に厳しい交渉結果となりました。しかし、平成30年度の県教育委員会予算には、学校業務支援員配置に関する予算や、特定地域に限られますが日本語指導支援員配置に関する予算が確保されたこと等、勤務環境・教育環境の面で県教連の要求が反映されていきました。これは交渉の成果と言えます。

会の成功に向け御尽力いただきましたこと、本当に感謝しています。ありがとうございます。

発行
山口県教職員団体連合会
代表者 山本 純
編集人 田中 元晴
山口市大手町教育会館内
電話 (083) 922-2049番
FAX (083) 921-0907番
E-mail:
kyoren@orange.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkyouren.com



県教連の再盛！ 組織拡大を目指して！

☆企画研修部新設☆

今年度からこれまで組織対策を担ってきた女性教職員部と青年部を統合し、組織の拡大を目指して活動する企画研修部を新設しました。企画研修部では、組織対策を念頭に置きながら、未加入者が県教連を身近に感じ参加したくなるような行事の企画や、各世代の職種・ニーズに応じた魅力的な研修会の企画等を行い、組織の拡大・強化につなげていきます。会員の皆様も是非、企画研修部が企画した行事や研修会に、未加入者をお誘いの上、御参加ください。

☆組織対策 三本の矢☆

ここ数年、全国的に見ても教職員団体への加入者数が減少しており、山口県においても約70パーセントの教職員がどの教職員団体にも所属していない現状があります。

これからの山口県教育をより良いものにし、真に子供たちのためになる教育活動を進めていくためには、県教連の存在は必要不可欠です。このことを一人でも多くの未加入者に伝え、県教連への理解を深め、組織拡大につなげていくことが重要となります。

そこで、今年度は組織拡大に向け、次の3つの取組「三本の矢」を行うことにしました。

一の矢…「組織対策学習会の新設」

分会代議員を中心に開催される分会訪問とは別に、会員個人が、または、単組専門部等が未加入者の県教連への加入を目的に開催する組織対策学習会を新設します。会員であれば誰でも組織対策学習会を開催できます。今の同僚に限らず、かつての同僚や他の市町の学校に勤務する未加入の知り合いに対する県教連加入を勧める取組を支援します。

県教連の良さや必要性を専従と一緒に伝え、新規加入につなげるためにも、是非組織対策学習会を御企画ください。なお、申し込み手順や補助金等、詳細については、各分会に送付した回覧チラシを御覧ください。

二の矢…「組織拡大・強化に向けた単組の取組に対する表彰」

単組における組織拡大・強化に向けた取組に対する支援と意識高揚を目的として、次の二つの部門を設け、それぞれ顕著な結果を残した単組を表彰及び支援を行います。

- 新規会員加入率部門
- 新規会員獲得数部門

三の矢…「新規加入者獲得に対する個人・分会への支援」

新規加入者の獲得に尽力した会員、もしくは分会に対する支援と意識高揚を目的として、新規加入があった場合、その加入に関して尽力した個人・分会に対する支援を行います。